

平成30年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技

試合日	2018年8月4日(土)
開始時刻	15:00
会場	一宮市総合体育館

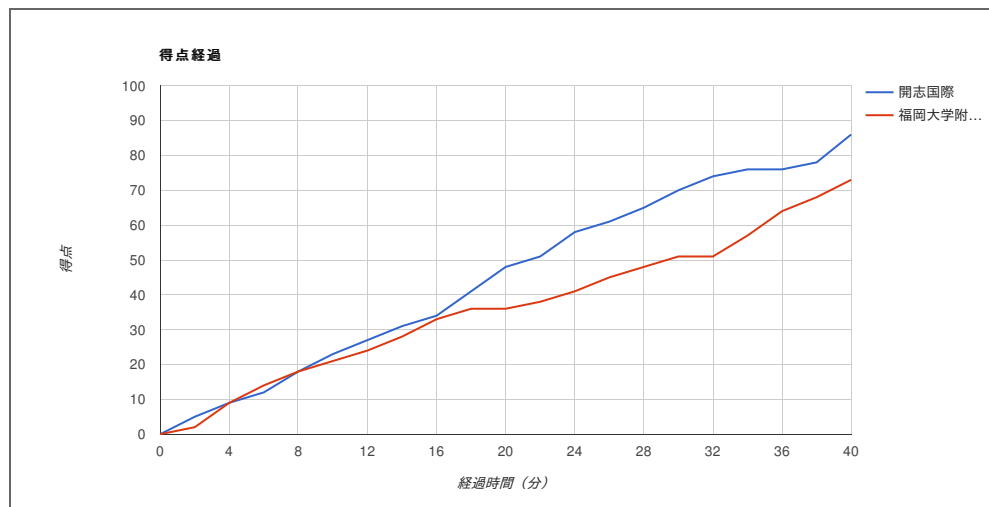
開志国際	86	73	福岡大学附属大濠
	23 - 21	25 - 15	
	22 - 15	16 - 22	

開志国際

No.	選手名	GS	PTS	3P		2P		DK	FT		RBD			AST	STL	BLK	TO	PF	TF	FO	MN
				MA	%	MA	%		MA	%	OR	DR	TOT								
4	小池 文哉	●	19	2-6	33	6-11	54	0	1-2	50	0	2	2	4	0	0	2	4	0		33:10
5	小栗 瑛哉	●	15	3-7	42	3-5	60	0	0-2	0	1	4	5	0	3	0	3	3	0		27:24
6	和田 蓮太郎	●	6	0-2	0	3-4	75	0	0-0	0	2	3	5	3	0	0	0	0	0		38:52
7	丸山 遼		0	0-0	0	0-0	0	0	0-0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		0:58
8	相馬 迅		0	0-0	0	0-0	0	0	0-0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		DNP
9	清水 瑠衣		0	0-0	0	0-0	0	0	0-0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0:10
10	高木 拓海		1	0-1	0	0-0	0	0	1-2	50	0	2	2	0	0	0	0	2	0		6:49
11	板澤 明日起		1	0-1	0	0-1	0	0	1-2	50	0	1	1	1	0	0	1	2	0		19:23
12	ジョーンズ 大翔	●	15	3-7	42	3-5	60	0	0-0	0	0	0	0	0	0	0	4	0		33:13	
13	永原 陸		0	0-0	0	0-0	0	0	0-0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0:16
14	JOOF Yus uf		27	1-2	50	10-19	52	0	4-8	50	3	12	15	6	2	0	0	2	0		31:03
15	S YLLA ELHADJ AS S ANE	●	2	0-0	0	1-1	100	0	0-0	0	2	2	4	1	0	0	1	0	0		8:41
	Team/Coaches		0	0-0	0	0-0	0	0	0-0	0	1	3	4	0	0	0	1	0	0		DNP
	TOTALS		86	9-26	34	26-46	56	0	7-16	43	9	29	38	15	5	0	8	18	0	0	199:59

福岡大学附属大濠

No.	選手名	GS	PTS	3P		2P		DK	FT		RBD			AST	STL	BLK	TO	PF	TF	FO	MN
				MA	%	MA	%		MA	%	OR	DR	TOT								
4	山本 草大		0	0-1	0	0-2	0	0	0-0	0	1	1	2	1	0	0	0	2	0		10:23
5	土家 大輝	●	14	3-5	60	1-7	14	0	3-4	75	0	5	5	2	0	0	1	5	0		30:35
6	西田 公陽	●	22	3-9	33	4-8	50	0	5-8	62	0	4	4	2	1	0	4	3	0		39:19
7	開山 終		0	0-0	0	0-0	0	0	0-0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		DNP
8	木林 優	●	14	4-5	80	1-1	100	0	0-0	0	1	4	5	0	1	0	0	4	0		40:00
9	黒木 丈	●	6	0-2	0	3-6	50	0	0-0	0	1	2	3	0	0	0	2	1	0		33:13
10	緒方 康太		0	0-0	0	0-1	0	0	0-0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		2:06
11	高木 寛大		0	0-0	0	0-0	0	0	0-0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0		1:18
12	田邊 太一	●	14	0-1	0	5-9	55	0	4-9	44	1	6	7	3	1	0	0	1	0		37:17
13	原田 大和		0	0-0	0	0-0	0	0	0-0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		DNP
14	平松 克樹		3	1-2	50	0-0	0	0	0-0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0		5:49
15	岩橋 史門		0	0-0	0	0-0	0	0	0-0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		DNP
	Team/Coaches		0	0-0	0	0-0	0	0	0-0	0	1	4	5	0	0	0	0	0	0		DNP
	TOTALS		73	11-25	44	14-34	41	0	12-21	57	5	26	31	10	3	0	9	16	0	0	200:00



戦評

第1P ディフェンスは両チームともハーフコートマンツーマン。序盤は入れられては入れ返すどちらも譲らない展開が続く。大濠が#8、#6の連続3Pシュートで一步抜け出すかと思われたが開志国際も#4のバスケットカウント、3Pシュートですぐに逆転に成功する。その後も入れ合いの状態が続き23対21の開志国際2点リードで第1P終了。第2P 開志国際は#12の連続ジャンプシュートで先行する。しかし、福大大濠も#12、#9のジャンプシュートで食らいつく。残り6分11秒開志国際#14のバスケットカウントで31対28となったところで福大大濠がタイムアウト。残り5分を切ったところで福大大濠#6の3Pシュート、#9のジャンプシュートで逆転する。しかし開志国際もインサイドにボールを集め譲らない。その後#5のスティールからのレイアップや#12の3Pシュートで一步抜け出した開志国際が48対36とリードして第2P終了。第3P 福大大濠は#12のレイアップで先制するとディフェンスを1-2-2のオールコートゾーンプレスからの3-2ゾーンへと切り替え仕掛けを図る。しかし、開志国際も落ち着いて対応し主導権は譲らない。開志国際#4の鋭いドライブからのバスケットカウントで54対38となったところで福大大濠タイムアウト。福大大濠は#8の3Pシュートや#9のミドルシュートで対抗するが、開志国際は#14の内外にわたる活躍で点差を詰めさせない。最後は開志国際#5のプザーと同時に放った3Pシュートが決まり70対51と開志国際がリードを広げて第3P終了。第4P 開志国際が#6のドライブから勢いに乗る。福大大濠は積極的にシュートを狙うがなかなか決めることができない。しかし福大大濠は#4がコートに入ると思いきや一変する。積極的なディフェンスと大きな声でチームを鼓舞し流れを呼び込む。福大大濠#14、#8が連続して3Pシュートを決め残り4分11秒76対64の12点差になったところで開志国際タイムアウト。残り3分#8のファストブレイクでついに10点差となる。しかし、その後はしっかりとゲームをコントロールした開志国際が86対73で勝利した。敗れはしたものの福大大濠の前年度チャンピオンとしてのプライドが会場を盛り上げた好ゲームであった。

文責：成田 真一

No: 背番号 PTS: 得点 AVG: 1試合平均得点 M: 成功数 A: 試投数 %: 成功率 2P: 2ポイントシュート 3P: 3ポイントシュート DK: ダンク FT: フリースロー RBD: リバウンド OR: オフェンスリバウンド DR: ディフェンスリバウンド TOT: 合計 AST: アシスト STL: スティール BLK: ブロックショット TO: ターンオーバー PF: パーソナルファウル, クリア・パス・ファウル, アウェイ・フロム・ザ・ブレイク・ファウル, フレグランドファウル, バンチングファウルの合計 TF: テクニカル・ファウル FO: ファールオン DQ: 退場回数 MN: 試合出場時間

主審	守谷 圭介	副審	北村 仁
副審		副審	
スコアラー	太白高校	サブスコア担当者	